

防災対策強化に女性の視点を導入

防災会議の女性メンバー増員、防災リーダーの育成、防災訓練への女性参加を



大槻ゆり子 議員

答

女性の参画は大変重要、積極的に呼びかけて参ります。

東日本大震災や熊本地震などを教訓に、女性の視点を反映した防災対策づくり「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」が全国で活用されている。

問 「防災タイムライン」をどう検討したか。

答 政策部長

高島土木事務所が大規模水害対策タイムラインを策定していますので、内容の整合を図り市民向け・市職員向けの策定を行います。

問 福祉施設の避難計画の進め方は。

答 政策部長

法改正により避難計画の策定が義務付けられましたので、対象の全ての施設が早期に策定されるよう相談に対応してまいります。

問 お湯の出る自販機・トイレについて。

答 政策部長

自販機は、物資供給の協定により燃料等の提供を受け、対応したいと考えます。トイレは車いす対応が出来る大型トイレ61基、仮設トイレ18基、組み立てトイレ14基を備蓄していますが、H30年度には100%の備蓄を目指します。

問 「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」の取り組みは。

答 政策部長

防災への女性の参画は大変重要なことから昨年「大規模災害検証チーム」において検討し、女性視点への対応を考えたところです。内閣府の手引きも参考にし、更に研究してまいります。

問 防災会議の女性メンバー増員、防災リーダーの育成、防災訓練への女性参加について。

答 政策部長

現在、防災会議の女性メンバーは39名中5名と低い割合です。今後も女性の参画に努めてまいります。また、防災リーダーや防災訓練への女性参加は大変重要です。出前講座において参画を積極的に呼びかけます。

問 自治会に、初動対応が一目でわかるマニュアルを配布しては。

答 政策部長

防災リーダーを中心に話し合い、地区独自のマニュアルを作っていたことが大切だと考えます。

その他の質問

●子どもの貧困問題と対策について



平成 29 年度高島市総合防災訓練